

令和 5 年 9 月 24 日現在

機関番号：35305

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2018～2021

課題番号：18H00703

研究課題名(和文) 戦後冷戦初期日本の華僑社会に関する実証的研究：東アジア秩序の再構築

研究課題名(英文) Empirical Study on Postwar Overseas Chinese Society of Japan in the Early Cold War Era: Reconstruction of East Asian Order

研究代表者

陳 來幸 (Chen, Laixing)

ノートルダム清心女子大学・文学部・教授

研究者番号：00227357

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,200,000円

研究成果の概要(和文)：戦後日本における華僑社会の再編過程を歴史学的手法によって明らかにした。戦後の中国人留学生を含む華僑運動が日本と中国の共産党の強い影響下にあったこと、台湾人が果たした役割の重要性を再確認したこと、大阪華僑の来歴を深く掘り下げたことが、華僑研究における新しい成果の一つである。海外との関係は戦時中に断絶があったものの、戦後すみやかに関係を回復したのは華僑独自の商業ネットワークであった。金門、客家、福建系等重要な神戸華僑に対する口述調査により、ファミリーネット復活のプロセスと戦後直後期の特色を明らかにするとともに、冷戦混乱期の東南アジアの華僑社会が共通の課題を抱えていたことにも注目した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

戦後冷戦時期の日本の華僑史を歴史学的手法でまとめたこと、日本の華僑研究を、日本近現代の文脈で位置づけるとともに、海外の華僑社会との対比と関連のもとで描出したことに意義がある。成果物として15名の研究者の論文とコラムからなる『冷戦アジアと華僑華人』の公刊が実現した。神戸・横浜・長崎とは異なる商業都市大阪の華僑社会の特色と戦前戦後史を改めて問い直したことと、台湾人が果たした役割の重要性を改めて析出できたことが重要なポイントである。

研究成果の概要(英文)：The new reorganization process of Chinese society in postwar Japan was clarified by historical methods. In particular, we focused on the fact that the post-war movement of Chinese students and overseas Chinese in Japan was strongly influenced by the Communist Party of Japan and China, and the importance of the role played by the Taiwanese. Moreover, one of the main achievements was the in-depth study of the origins of the Chinese overseas in Osaka.

We clarified the revival process of the family network of overseas Chinese, through oral interviews toward three important Chinese families in Kobe. We also focused our attention to the common problems faced by overseas Chinese communities in Indonesia and Vietnam during the chaotic post-war period.

研究分野：東洋史

キーワード：華僑華人 冷戦 台湾人 ネットワーク 僑務政策 東南アジア 金門 客家

### 1. 研究開始当初の背景

中華民国外交部の資料が段階的に公開され、中央研究院近代史研究所档案館と国史館で閲覧と複写ができ、北京政府の外交部档案館も当初は制限つきながら利用可能という状況にあった。日本に残る史料に加え、これら中台の一次資料を用いた実証的分析に加え、口述調査の手法を加味し、いまだ着手されていない戦後日本の華僑史の歴史学分析が可能となった。つまり、

戦後 GHQ 占領期から 1950～60 年代に関する歴史研究の条件が整った、

存命の関係者への聞き取り調査を進めるには早急に研究に着手する喫緊の必要性があった、

学際交流が進んだ結果、華僑研究に不可欠な異領域研究者による共同研究の機が熟した、

という環境のもとで、下記研究目的実現のために、分担研究者と研究協力者の配置を考えた。

### 2. 研究の目的

戦後日本の華僑史を下記の諸側面から歴史学的手法によって明らかにすることを目的とする。

日本の社会運動と共時的に歩んだ華僑の戦後史を新史料に基づき実証的に描き出す、

国共両党、中台両政府の華僑政策に則して東アジア冷戦体制下の日本華僑史を明らかにする、

日本華僑研究の空白となっている大阪華僑と長崎華僑の一部歴史を戦前含め明らかにする、

アジア各地の華僑社会に及ぼした冷戦初期国(民党)共(産党)両党対立の影響を国際比較の視点から複眼的かつ総合的に捉え、戦後東アジアの政治経済秩序再構築の経緯を明らかにすることを課題とする。

### 3. 研究の方法

一年目(2018年度)(1)キックオフのためのメンバー会議を開き、これまで収集した史料と蓄積された各自の知見を共有すると同時に、異分野・複数言語研究者による共同研究推進体制をとることを確認し、(2)阪神間に在住する福建系の T 家、金門系の K 家、客家系 P 家への訪問調査を進め、それぞれのフィリピン、インドネシア、香港との繋がりを確認し、婚姻を通じた個別ネットワークの検証を試みた。(3)各自先行研究の整理とさらなる国内外資料収集を行い、フィリピンでは華僑学校を中心とする口述調査、台湾では近代史研究所档案館で資料調査を行い、主として日本華僑とベトナム華僑関係のファイルを集めた。

二年目(2019年度)(1)大阪華僑については川口華商を構成した北幫と南幫について、初期大阪北幫の中心人物であった叢良弼の出身地と帰国投資の地である烟台・青島にて僑郷調査を実施し、南幫の中心人物であった張友深に関しては、遺族から預かり、整理と分析を進めていた貴重な歴史史料をまとめ、神戸華僑歴史博物館と協力して刊行した。(2)国内外の研究協力者・現地研究者とともにインドネシア華僑社会調査を実施。客家組織や秘密結社、華僑学校を中心に知見を広げた。(3)金門研究・客家研究・朝鮮華僑研究の第一人者を台北・広東省梅州市および広州から招聘し、メンバー会議を兼ねる国際ワークショップを神戸にて開催した。

三年目(2020-22年度)と四年目(2021-22年度)はコロナ禍の影響により海外調査はほぼ実施不可能となったが、現地研究協力者による台湾中央研究院での資料収集(インドネシア華僑ファイルの収集)は細々と進めることができた。当初予定していたさらなるフィリピン華僑調査と、朝鮮華僑(+僑郷)調査、金門島・梅県客家の僑郷調査は断念し、その代替イベントとして帰国フィリピン華僑研究者を招聘して企画した講演会や冷戦期横浜華僑を扱ったフィルムの監督を囲む上演会(+ワークショップ)、在日ベトナム人華僑研究をテーマとする合同ワークショップなどを企画・開催した。断念せざるを得なかった調査は多かったが、代わりに最終的に論文集の刊行に目的をしばり、神戸華僑華人研究会などとの合同の形式をとり、オンライン併用の研究会を多数開催し、討論を重ねた。

### 4. 研究成果

その結果、代表者を含め分担研究者のうち6名と研究協力者9名による15章+3コラム構成からなる成果物が陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』(風響社、2023年3月)として刊行された。二年目に「方法」欄で説明した『張友深関係文書 近代大阪華僑史料集』(蒋海波編・神戸華僑歴史博物館)を刊行したのに続き、この科研の最終成果物を世に問うことができた。

18篇のうち2篇が戦後日本の華僑・留学生運動と日本の社会運動を扱い、3篇が大阪の華僑社会を深く掘り下げ、2篇が在日台湾人の論考となり、資料収集が進んだ日本関連が全体の論文の約半分を占めた。インドネシアについては4篇、フィリピン関連ではコラムを含め3篇、ベトナムについても資料収集の成果を反映した論考が加わり、戦後の大陸中国から退避して海を越えた生き残り戦略で難局を乗り越えた企業に関する論考と冷戦期台湾の社会福利に関するもの、相

対的な視点を提供するペルー華僑の出入国問題を扱う論考を加えた。

研究目的に掲げた次の3点、一次史料の精査と口述調査の遂行により、戦後日本の華僑史を歴史学手法によって明らかにできたこと、国共両党、中台二つの政府の華僑政策に則してアジアを中心とした各地華僑社会が冷戦期に共有したジレンマを複眼的に描きだしたこと、日本の華僑華人研究で比較的手薄であった大阪華僑を、戦前の居留地時代の実態描写、北幫グループの中華料理業のビジネスモデルの指摘、政府補助金と大阪中華学校の再建という視点から詳細に描いたこと、は研究の成果といえる。戦後日本の華僑社会および華僑運動の主役であった在日台湾人に改めて光を当て、その役割の重要性を深く分析できたことは、台湾人のインドネシア華僑社会での特殊な役割を指摘した論考を含め、華僑社会の研究における新境地を開いたものといえる。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計49件（うち査読付論文 16件 / うち国際共著 30件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 陳來幸	4. 巻 -
2. 論文標題 20世紀初頭バタヴィアにおける客家系華商の台頭ー神戸・香港を繋ぐ梅梟潘氏を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 籠谷直人・川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』臨川書店	6. 最初と最後の頁 195-229
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 工藤裕子	4. 巻 -
2. 論文標題 ジャワにおける包種茶の普及と華人流通網ー20世紀前半期の台湾積民の活動を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 籠谷直人・川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』臨川書店	6. 最初と最後の頁 262-283
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 易星星	4. 巻 -
2. 論文標題 共和制下における上海商業儲蓄銀行の創設と発展	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 孫文研究会・神戸華僑華人研究会編『東アジア世界と共和の創生』汲古書院	6. 最初と最後の頁 276-306
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 安井三吉	4. 巻 -
2. 論文標題 戦後日本の社会運動と華僑	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 30-56
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 荒川雪	4. 巻 -
2. 論文標題 戦後中国人留日学生団体と日本共産党・中国共産党 中国留日同学総会執行部と日共中国人細胞（支部）の関係を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 57-87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 蒋海波	4. 巻 -
2. 論文標題 大阪川口居留地と華僑社会の形成	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 90-112
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 上田貴子	4. 巻 -
2. 論文標題 戦後大阪神戸における山東幫の生存戦略 山東系中華料理店のビジネスモデルを中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 113-135
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 陳來幸	4. 巻 -
2. 論文標題 戦後冷戦初期日本の華僑学校の再建をめぐる抗争 国共による争奪戦か地域の競争か	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 138-159
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 何義麟	4. 巻 -
2. 論文標題 戦後在日台湾人の帰国と帰郷	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 162-182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 岡野翔太 (葉翔太)	4. 巻 -
2. 論文標題 中華民国派華僑組織の形成と台湾外省人 (1950-60年代) 大陸を去った「日本帝国」と「中華民国」で生きた人びとに注目して	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 183-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 劉ぶん	4. 巻 -
2. 論文標題 東西冷戦期における台湾の"社会福利"	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 213-232
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 鍾淑敏	4. 巻 -
2. 論文標題 「台湾籍民」から華僑へ インドネシアの台湾人 (1895-1960)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 236-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 工藤裕子	4. 巻 -
2. 論文標題 「二つの「中国」とジャカルタの華人社会 国民党派の動向を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 262-283
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 北村由美	4. 巻 -
2. 論文標題 『生活報』に見られる冷戦初期のインドネシア華人と中国	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 284-294
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 工藤裕子	4. 巻 -
2. 論文標題 コラム 神戸とジャカルタの二人の「潘」さん 雑貨貿易がつかない客家系華商の移動と定着	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 295-308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 宮原暁	4. 巻 -
2. 論文標題 東南アジアの中国系移民とその子孫に関する親族研究と冷戦 音素的な解釈を越えて	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 310-337
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 宮原暁・岡野翔太(葉翔太)	4. 巻 -
2. 論文標題 コラム 「商い」を仕舞うとき フィリピン賠償貿易と神戸華僑	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 338-351
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 陳來幸	4. 巻 -
2. 論文標題 コラム ある金門一族のファミリーネットワーク	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 352-361
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 岩瀬真央美	4. 巻 -
2. 論文標題 一九六三年軍事クーデター直後のサイゴン 軍事政権の華僑政策に対する華僑社会の期待と不安	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 364-384
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 易星星	4. 巻 -
2. 論文標題 冷戦初期における上海商業儲蓄銀行の海外展開の紆余曲折	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 387-415
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する



1. 著者名 貴志俊彦	4. 巻 -
2. 論文標題 ペルー華僑の出入国問題と冷戦期に至る中秘関係	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 陳來幸編『冷戦アジアと華僑華人』風響社	6. 最初と最後の頁 416-436
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 陳來幸	4. 巻 -
2. 論文標題 日本統治期台湾人家族の日本における発展とその商業ネットワーク：神戸泰安公司陳通ファミリーを中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 蘭信三・松田利彦・李洪章・原佑介・坂部晶子・八尾祥平編『帝国のはざまを生きる 交錯する国境、人の移動、アイデンティティ』	6. 最初と最後の頁 681-710
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 陳來幸	4. 巻 3
2. 論文標題 台湾二二八事件と在日華僑社会	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 蘭信三・石原俊・一ノ瀬俊也・佐藤文香・西村明・野上元・福間良明編『総力戦・帝国崩壊・占領』シリーズ『戦争と社会』	6. 最初と最後の頁 179-184
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chen, Laixing (陳來幸)	4. 巻 -
2. 論文標題 The Role of Hakka Merchants in Asia Focusing on the Family Network between Kobe, Batavia, Hongkong and Mei-xian in Early Twentieth Century	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Yumi Kitamura, Alan Hao Yan, and Julian Thung eds., When East Asia meets Southeast Asia: Presence and Connectedness in Transformation revisited, World Scientific	6. 最初と最後の頁 131-150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 宮原暁	4. 巻 -
2. 論文標題 エチュールと声の間 福建省晋江僑批の多声的解釈	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 黄滙・山本博之(編)『東南アジアのナショナリズムと華人「同化」の実像』京都大学東南アジア地域研究研究所	6. 最初と最後の頁 35-44
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荒川雪	4. 巻 67
2. 論文標題 在日中国人メディアが記録した留日学生をめぐる国府と人民政府の争奪 中国留日同学総会機関紙『中国留日学生報』(1950-1957年)を手がかりに	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 人文学研究所報	6. 最初と最後の頁 169-190
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荒川雪	4. 巻 -
2. 論文標題 中国留日同学総会の財務状況の考察 機関紙『中国留日学生報』の広告を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 孫安石・大里浩秋『明治から昭和の中国人日本留学の諸相』東方書店	6. 最初と最後の頁 431-485
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡野翔太	4. 巻 51
2. 論文標題 「中華民国」の政治変動と日本華僑の対応: 1990年代・国民党系メディア『自由新聞』の論調を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 現代台湾研究	6. 最初と最後の頁 47-72
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 何義麟	4. 巻 57
2. 論文標題 戦後在日臺灣人與華僑研究史料解析：以社團出版品為中心	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臺灣史料研究	6. 最初と最後の頁 124-140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳來幸	4. 巻 -
2. 論文標題 1950年代冷戦結構下国共両陣営対日本華僑展開的争奪戦	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 公益財団法人東洋文庫超域亜洲研究部門現代中国研究班主編『集体化時代の中国--日中共同研究』	6. 最初と最後の頁 105-137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 工藤裕子	4. 巻 18
2. 論文標題 オランダ領東インドの客家系商人 20世紀初頭の事業展開とアジア域内ネットワークを中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 華僑華人研究	6. 最初と最後の頁 7-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮原暁	4. 巻 18
2. 論文標題 ソウルフード以前 フィリピン諸島と福建の間のディアスポリック・チャイニーズの日常的な食	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 華僑華人研究	6. 最初と最後の頁 113-138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳來幸	4. 巻 17
2. 論文標題 書評 曾士才・王維編著『日本華僑社会の歴史と文化：地域の視点から』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 華僑華人研究	6. 最初と最後の頁 86-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荒川雪	4. 巻 第54号
2. 論文標題 建国初期の中国外交部での組織構造に関する一考察 中国外交部档案を手がかりに	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア文化研究所研究年報 (東洋大学アジア文化研究所)	6. 最初と最後の頁 18-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳來幸	4. 巻
2. 論文標題 日本の華僑社会におけるいくつかの中国料理定着の流れ 神戸・大阪を中心として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 岩間一弘編著『中国料理と近現代日本:食と嗜好の文化交流史』慶応義塾大学出版会	6. 最初と最後の頁 101-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 貴志俊彦	4. 巻
2. 論文標題 太平洋戦争下の食と健康 中国の日本人俘虜は何を食べていたのか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 岩間一弘編著『中国料理と近現代日本:食と嗜好の文化交流史』慶応義塾大学出版会	6. 最初と最後の頁 323-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 貴志俊彦	4. 巻 121巻12号
2. 論文標題 華北交通アーカイブ 戦時期広報用写真の研究データベース構築と社会の反応	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 情報処理学会技術報告	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 貴志俊彦	4. 巻 第93号
2. 論文標題 中国近現代史研究のパラダイム・シフトの可能性 私たちはいかに対応すべきか？	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 現代中国	6. 最初と最後の頁 59 - 66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chen, Laixing (陳來幸)	4. 巻
2. 論文標題 Structure and Flexibility in Chinese Merchant Networks: Chinese Chambers of Commerce Overseas in the First Half of the Twentieth Century	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Chi-cheung Choi, Tomoko Shiroyama, Takashi Oishi eds.. Chinese and Indian Merchants in Modern Asia: Networking Businesses and Formation of Regional Economy, Leiden/Boston: BRILL	6. 最初と最後の頁 285-311
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kagotani, Naoto	4. 巻
2. 論文標題 The Asian Merchant's Networks and Japan's Trade Recovery from the Great Depression in the 1930'S	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Chi-cheung Choi, Tomoko Shiroyama, Takashi Oishi eds.. Chinese and Indian Merchants in Modern Asia: Networking Businesses and Formation of Regional Economy, Leiden/Boston: BRILL	6. 最初と最後の頁 231-257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 宮原暁	4. 巻 21号
2. 論文標題 『番客歌』と『黒い羊』の間 - フィリピン華人文学の物語空間	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アジア太平洋論叢	6. 最初と最後の頁 47-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 王雪萍	4. 巻 第57-1号
2. 論文標題 在日中国人メディアが記録した留日学生思想の変化 中国留日同学総会の機関紙『中国留日学生報 (1947-1949) を手がかりに』	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東洋大学社会学部紀要 (東洋大学社会学部)	6. 最初と最後の頁 21-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 王雪萍	4. 巻 第2号
2. 論文標題 中国共産党と中国政府の石橋湛山認識に関する一考察 『人民日報』、『世界知識』、中国外交部档案を基に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『石橋湛山研究』 (立正大学石橋湛山研究センター)	6. 最初と最後の頁 87-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 王雪萍	4. 巻 61
2. 論文標題 『神州学人』誌から見る中国の留学生政策の変容 「一帯一路」構想を中心に」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『人文学研究所報』 (神奈川大学人文学研究所)	6. 最初と最後の頁 97-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳來幸	4. 巻
2. 論文標題 客家商人与近代日本華僑社会	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 黄賢強主編『会馆、社群与网络 客家文化学术論集（客家文化研究叢書 5：新加坡茶陽〔大埔〕会馆160周年会慶特輯）』新加坡国立大学中文系	6. 最初と最後の頁 189-206
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 KITAMURA YUMI	4. 巻 54
2. 論文標題 Introduction to the Special Issue ? Re-Positioning China 's and Taiwan 's Migration in Southeast Asia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Issues & Studies	6. 最初と最後の頁 1802001 ~ 1802001
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1142/S1013251118020010	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Yumi Kitamura	4. 巻
2. 論文標題 The Re-recognition of Confucianism in Indonesia: An Example of China's Soft Footprint in Southeast Asia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Maria Serena I. Diokno, Hsin-Huang Michael Hsiao and Alan H. Yang eds., China's Footprints in Southeast Asia	6. 最初と最後の頁 172-193
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.2307/j.ctv9hj8v9.9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 安井三吉	4. 巻 読史会報告書
2. 論文標題 神戸華僑聯誼会史綱（1957-1976）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 戦後神戸華僑関係資料を読む会編『戦後神戸華僑史の研究』神戸華僑歴史博物館	6. 最初と最後の頁 27-99
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡野翔太	4. 巻 第24期
2. 論文標題 去殖民化中在日台湾人身分;定位的再建構 以日本神戸「台湾省民會」(1945-1946)爲例	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 台湾史學雜誌	6. 最初と最後の頁 38-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計44件 (うち招待講演 7件 / うち国際学会 22件)

1. 発表者名 陳來幸
2. 発表標題 華僑研究にみる子人・越境・技術移転のネットワーク
3. 学会等名 台湾中央研究院台湾史研究所802会議室での公開講演会 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 陳來幸
2. 発表標題 日中国交正常化 (日台断交) と在日華僑社会
3. 学会等名 現代中国学会 2022年度 関西部会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬真央美
2. 発表標題 1963年軍事クーデター直後のサイゴン: 軍事政権の華僑政策に対する華僑社会の期待と不安
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会 (3月26日) 第195回例会と本科研による共催研究会
4. 発表年 2022年



1. 発表者名 安井三吉
2. 発表標題 戦後日本の社会運動と華僑
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会（3月26日）第195回例会と本科研による共催研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 李培徳
2. 発表標題 戦後冷戦初期における香港の胡文虎について
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会（1月22日）第194回例会と本科研による共催研究会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 姜ジン亜
2. 発表標題 朝鮮華僑と国民党：在京粵商同順泰号を糸口に語る忘れられた歴史
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会（9月18日）第193回例会と本科研による共催研究会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 易星星
2. 発表標題 共和制下における上海商業儲蓄銀行の創設と発展
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会（8月21日）第192回例会と本科研による共催研究
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 北村由美
2. 発表標題 冷戦とインドネシア華人の国際移動
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会（2月6日）第188回例会と本科研による共催研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 工藤裕子
2. 発表標題 インドネシアの客家系華人 梁家7代の軌跡より
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会（2月6日）第188回例会と本科研による共催研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岡野（葉）翔太
2. 発表標題 日本帝国の崩壊と「華僑」へ転身した者たち
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会（12月20日）第187回例会および学術振興会特別研究員奨励費「沖縄からみる環太平洋島嶼地域支配の重層性：パイン産業の国際移動の批判的検証（代表：八尾祥平）」と本科研による共催研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 八尾祥平
2. 発表標題 パイン産業からの「華僑華人」研究の再検討
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会（12月20日）第187回例会および学術振興会特別研究員奨励費「沖縄からみる環太平洋島嶼地域支配の重層性：パイン産業の国際移動の批判的検証（代表：八尾祥平）」と本科研による共催研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宮原暁
2. 発表標題 戦後冷戦初期におけるフィリピン『華僑社会』をめぐる政治力学
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会（9月19日）第185回例会と本科研による共催研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡野翔太
2. 発表標題 フィリピン『華僑社会』と日本 神戸華僑T氏への聞き取りから
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会（9月19日）第185回例会と本科研による共催研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 蒋海波
2. 発表標題 大阪華商張友深（1876 - 1946）の生涯とその事業 『張友深関係文書』の編集を通じて
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会（8月29日）第184回例会と本科研による共催研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 蒋海波・陳來幸
2. 発表標題 大阪華商叢良粥の故郷山東半島を訪ねて
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会（8月29日）第184回例会と本科研による共催研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鍾淑敏
2. 発表標題 二戰時期在印尼的臺灣人
3. 学会等名 日本帝国與殖民地：人流與跨境（四）國際學術研討會、中央研究院（國際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 陳來幸
2. 発表標題 戦後日本における華僑社会の再建とネットワークの再構築
3. 学会等名 中国現代史研究会2020年研究集会、谷岡学園梅田サテライトオフィス
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Miyahara, gyo
2. 発表標題 "ASEAN Identity" and Sinicization: Focusing on the Filipino-Chinese Inter-Ethnic Relationship. "
3. 学会等名 St. Andrew's-IIR Workshop on the New Dynamics of Political Economy in Southeast Asia ( 國際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 持田洋平
2. 発表標題 シンガポール華人社会におけるナショナリズムの形成過程（1896-1909年）
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会 第178回例会 5月18日
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 易星星
2. 発表標題 中国旅行社のネットワーク展開に関する考察
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会 第178回例会 5月18日
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kishi, Toshihiko
2. 発表標題 Case Studies for East Asian Visual History: New Methodologies and Interpretations
3. 学会等名 Asia-Pacific Seminar (Seminario Asia-Pacifico), Peru (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安井三吉
2. 発表標題 神戸中華同文学校の建校運動ー1958-59年を中心にー
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会 第179回例会 6月8日
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 王雪萍
2. 発表標題 建国初期中国外交部の機構と人事制度の確立に関する一考察 中国外交部档案を手がかりに
3. 学会等名 日本廖承志研究会研究会第十七回研究会 9月11日
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陳來幸
2. 発表標題 1950年代冷戦結構下国共両陣営対日本華僑展開の争奪戦
3. 学会等名 第八届中国当代史研究工作坊 於華東師範大学：上海（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kitamura, Yumi
2. 発表標題 Challenging the Borders of Religious 'Morality': Sexual Minorities in Christian Context in Contemporary Indonesia
3. 学会等名 5th International Conference on Urban Studies: Border, Transportation, and Space, October 26, Universitas Airlangga, Indonesia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上田貴子
2. 発表標題 戦後大阪神戸における山東幫の生存戦略 山東系中華料理店のビジネスモデルを中心に
3. 学会等名 日本華僑華人学会 2019年度大会開催校企画シンポジウム「大阪華僑・華人の戦後」、於近畿大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陳來幸
2. 発表標題 翻弄される戦後冷戦期の華僑社会 大阪中華学校を中心に -
3. 学会等名 日本華僑華人学会 2019年度大会開催校企画シンポジウム「大阪華僑・華人の戦後」、於近畿大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飯塚君穂
2. 発表標題 戦後日本の高等教育における台湾人学生の受け入れ 近畿大学を一例として
3. 学会等名 日本華僑華人学会 2019年度大会開催校企画シンポジウム「大阪華僑・華人の戦後」、於近畿大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 肖文評
2. 発表標題 東南亜客家僑商網絡与梅州僑郷形成与発展研究
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会、北村科研、本科研による合同国際ワークショップ「金門ネットワークと客家ネットワークを考える」(11月2日) (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 江柏い
2. 発表標題 近代金門の移民網絡及僑郷社会的文化景觀
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会、北村科研、本科研による合同国際ワークショップ「金門ネットワークと客家ネットワークを考える」(11月2日) (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kitamura, Yumi
2. 発表標題 Sexual Minorities in Christian Context in Indonesia
3. 学会等名 SEASIA Biennial Conference 2019, December 6, Taipei, Taiwan (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安井三吉
2. 発表標題 戦後日本の社会運動と新しい華僑組織の台頭
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会との本科研合同国際ワークショップ「戦後の華僑社会の新しい胎動を考える」(12月14日)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 何義麟
2. 発表標題 在日台湾人華僑のネットワーク
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会との本科研合同国際ワークショップ「戦後の華僑社会の新しい胎動を考える」(12月14日)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 王雪萍
2. 発表標題 中国留日学生同学総会と中国留日学生報
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会との本科研合同国際ワークショップ「戦後の華僑社会の新しい胎動を考える」(12月14日)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡野(葉)翔太
2. 発表標題 中国国民党駐日各支部の再建と華僑組織への影響
3. 学会等名 神戸華僑華人研究会との本科研合同国際ワークショップ「戦後の華僑社会の新しい胎動を考える」(12月14日)(国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 陳來幸
2. 発表標題 20世紀初頭～1950年代：日本の華僑社会に足跡を残した客家商人 - 梅県南口鎮僑郷村の潘家を中心に
3. 学会等名 日本華僑華人学会2018年度研究大会 パネル「東南アジア・東アジア間の華僑華人ネットワーク再考 客家系商人家族の事例研究から」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 陳來幸
2. 発表標題 神戸の開港と雑居地の形成およびその多文化共生性
3. 学会等名 城與濱的再造與重生：高雄再造歴史現場國際研討會、國際論壇「19-20世紀亞洲港湾城市的興起」(台湾)(招待講演)(國際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Miyabara, Gyo
2. 発表標題 The In-Betweenness of Sound and Script in “Kakyo”: A Social Semiotic Analysis of Prewar Japanese Texts.
3. 学会等名 The 7th International Conference World Confederation of Institutes and Libraries for Chinese Overseas Studies, Cornell University (米国)(國際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Miyabara, Gyo
2. 発表標題 Polyphony, Descriptions and Literary Governance Diasporic Literatures in the Philippines
3. 学会等名 Asian Studies Association of Australia Conference 2018 (オーストラリア)(國際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 貴志俊彦
2. 発表標題 東亜1970年代論 管窺從台琉海纜的建談起
3. 学会等名 中央研究院近代史研究所城市史研究群主催講演会（台湾）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 貴志俊彦
2. 発表標題 Case Studies for East Asian Visual History: New Methodologies and Interpretations
3. 学会等名 Asia-Pacific Seminar (Seminario Asia-Pacífico) (ペルー) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 貴志俊彦
2. 発表標題 「20世紀東アジア史」からみる「戦後」問題の再検証
3. 学会等名 Audiovisuelle Medien und nationale Identität - Kollektives Gedächtnis der Nachkriegszeit (ドイツ) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 王雪萍
2. 発表標題 廖承志と日中国交正常化前の日中関係
3. 学会等名 清華大学・中央大学共同研究講義プログラム (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上田貴子
2. 発表標題 日本人の見た奉天、中国人の生きた奉天
3. 学会等名 東洋史研究会大会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計15件

1. 著者名 陳來幸編著	4. 発行年 2023年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 474
3. 書名 冷戦アジアと華僑華人	

1. 著者名 籠谷直人・川村朋貴編	4. 発行年 2023年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 392
3. 書名 近代東南アジア社会経済の国際的契機	

1. 著者名 貴志俊彦	4. 発行年 2022年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 232
3. 書名 帝国日本のプロパガンダ 「戦争熱」を煽った宣伝と報道	

1. 著者名 Yumi Kitamura, Alan H Yang, Ju Lan Thung eds.	4. 発行年 2022年
2. 出版社 World Scientific	5. 総ページ数 404
3. 書名 When East Asia Meets Southeast Asia: Presence and Connectedness in Transformation Revisited	

1. 著者名 貴志俊彦	4. 発行年 2021年
2. 出版社 国際書院	5. 総ページ数 259
3. 書名 アジア太平洋戦争と収容所 重慶政権下の被収容者の証言と国際救済機関の記録から	

1. 著者名 蒋海波編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 神戸華僑歴史博物館	5. 総ページ数 285
3. 書名 張友深関係文書 近代大阪華僑史料集	

1. 著者名 小野亮介・中西雄二・岡野翔太・瀬戸徐映里奈	4. 発行年 2020年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 100
3. 書名 「亡国の越境者」の100年：ネットワークが紡ぐユーラシア近現代史	

1. 著者名 貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 227
3. 書名 描かれたマカオ ダーウェント・コレクションにみる東西交流の歴史 Images of Macau: East-West Exchange and the Derwent Collection	

1. 著者名 鍾淑敏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 中央研究院臺灣史研究所	5. 総ページ数 610
3. 書名 日治時期在南洋的臺灣人	

1. 著者名 貴志俊彦・泉水英計・名嘉山リサ編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 不二出版	5. 総ページ数 281
3. 書名 よみがえる 沖縄 米国施政権下のテレビ映像 琉球列島米国民政府（USCAR）の時代	

1. 著者名 Chi-cheung Choi, Tomoko Shiroyama, Takashi Oishi eds.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Leiden/Boston: BRILL	5. 総ページ数 355
3. 書名 Chinese and Indian Merchants in Modern Asia: Networking Businesses and Formation of Regional Economy	

1. 著者名 岩間一弘編著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 慶応義塾大学出版会	5. 総ページ数 392
3. 書名 中国料理と近現代日本: 食と嗜好の文化交流史	

1. 著者名 黄賢強主編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 新加坡国立大学中文系	5. 総ページ数 312
3. 書名 会館、社群とネットワーク 客家文化學術論集（客家文化研究叢書5：新加坡茶陽〔大埔〕会館160周年会慶特輯）	

1. 著者名 Maria Serena I. Diokno, Hsin-Huang Michael Hsiao and Alan H. Yang eds.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 National University of Singapore Press	5. 総ページ数 248
3. 書名 China's Footprints in Southeast Asia	

1. 著者名 戦後神戸華僑関係資料を読む会編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 神戸華僑歴史博物館	5. 総ページ数 102
3. 書名 戦後神戸華僑史の研究	

〔産業財産権〕

〔その他〕

神戸華僑華人研究会  
<http://kakyokajin.g3.xrea.com/info.html#others>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	上田 貴子  (Ueda Takako)  (00411653)	近畿大学・文芸学部・教授    (34419)	
研究分担者	貴志 俊彦  (Kishi Toshihiko)  (10259567)	京都大学・東南アジア地域研究研究所・教授    (14301)	
研究分担者	荒川 雪(玉雪萍)  (Arakawa Yuki)  (10439234)	東洋大学・社会学部・教授    (32663)	
研究分担者	籠谷 直人  (Kagotani Naoto)  (70185734)	京都大学・人文科学研究所・教授    (14301)	
研究分担者	宮原 暁  (Miyabara Gyo)  (70294171)	大阪大学・言語文化研究科(言語社会専攻、日本語・日本文化専攻)・教授    (14401)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	北村 由美  (Kitamura Yumi)  (70335214)	京都大学・附属図書館・准教授    (14301)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 協力者	安井 三吉  (Yasui Sankichi)		
研究 協力者	岩瀬 真央美  (Iwase Maomi)		
研究 協力者	鍾 淑敏  (Chung Shumin)		
研究 協力者	何 義麟  (Ho Yilin)		
研究 協力者	工藤 裕子  (Kudo Yuko)		
研究 協力者	岡野(葉) 翔太  (Okano Shota)		



## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	蔣 海波  (Jiang Haibo)		
研究協力者	劉 ぶん  (Liu wen)		
研究協力者	易 星星  (Yi Xingxing)		
研究協力者	許 瓊ほう  (Hsu Chiung Feng)		
研究協力者	宋 伍強  (Song Wuqiang)		
研究協力者	江 柏い  (Chiang Bowei)		
研究協力者	肖 文評  (Xiao Wenping)		

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計2件

国際研究集会 国際ワークショップ「戦後の華僑社会の新しい胎動を考える」	開催年 2019年～2019年
----------------------------------------	--------------------

国際研究集会 国際ワークショップ「金門ネットワークと客家ネットワークを考える」	開催年 2019年～2019年
--------------------------------------------	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------